

2021 年度活動方針・計画

【活動基本方針】

■社会背景と JIA

昨年より、新型コロナウイルスの感染拡大により世界中で行動変容が求められ、それまでの慣例や常識さえも覆しながら過去経験のない社会生活を余儀なくされました。それに伴い社会経済も大きな痛手を負い更なる不安が増大しています。今後もパンデミックの出口が不透明な状況下で安全安心を求める人々の価値観やライフスタイルが変化し、社会生活構造をも変貌させビジネスモデルの変容まで起こりつつあります。これらは言うまでもなく今後の都市変容・建築変容に直結するものであり携わる私たち建築家の多様化する社会的職責やデジタル改革（DX）など変化する職能環境への対応力が問われているもでもあります。その様な社会背景において JIA は本部・支部・地域会を横断的に課題や意思を共有し、順応性高い活動と積極的な社会発信を通して持続可能な社会づくりへの貢献が求められます。

■本部の状況

本部では、パンデミック WG が組織されコロナ禍による建築家や JIA のあり方への影響・変化などについて議論が重ねられています。そこでは急速に進んだオンライン/リモート環境により各地が等距離になり JIA が全国単一組織であるメリット活かす転機として前向きに捉えています。

またコロナ禍での社会的課題は感染症問題に止まらず SDG s 課題にも通ずるものであり昨年から延期された「SDGs 建築フォーラム 2020」の本年 6 月開催に向けて準備が進んでいます。

その他、2021 年度スタートする研鑽機会のブランド化「JIA スクール」、告示 98 号改定に向けた対応、BIM 化推進などなど JIA の社会的プレゼンス拡充や業務環境改善に向けた活動を推進しています。

■支部の状況

支部では、活動のオンライン化促進に伴いプラットフォームの環境整備が求められアカウント取得や活用ルールを定めてきました。昨年より各活動体・会議体においては工夫しながらの活動が続いており同時にアフターコロナを見通す新しい活動形態も模索されつつあります。

また支部内活動体間の連携強化にむけて委員会懇談会や事業調整 WG などを実施し相互理解を深めることで効果的な活動展開を目指しています。

さらに昨年度本部の困窮学生支援により数十名の学生会員が入会しました。将来の建築設計界を担う学生会員へのフォローや若手会員を含めた交流機会の充実を図り JIA の活性化にむけて検討しています。

■支部活動の方向性

JIA 活動の主体となる委員会活動や地域会活動の活性化にむけて支部の役割は活動のプラットフォームの整備であると思います。本部や支部委員会・地域会との情報交流の促進を図りつつ、既にある様々な課題対応やコロナ禍がもたらす「新しい時代」の活動形態に順応する環境整備を推進いたします。

そして、会員と社会に求められる職能団体として持続可能な支部運営を目指して、以下の通りの活動目標・計画とします。

【活動目標・計画】

1. アフターコロナ社会に向けて JIA 活動の検討
 - ① これからの JIA や建築家の「職能」を考える。
 - ② これからの JIA の「交流」を考える。
 - ③ これからの JIA の「財政」を考える。

2. JIAの社会的プレゼンスの拡充
 - ① 社会に向けた多彩な手段による戦略的広報の実践
 - ② まちづくり、保存、災害対策、環境など社会公益活動の見える化の強化
 - ③ 実績を活かした公共工事・発注者支援の推進
 - ④ 今後の支部大会開催に向けての模索
3. 会員サービスの拡充
 - ① 新たなブランディング「JIAスクール」の積極的な支部内展開
 - ② 「建築家資格制度」「登録建築家」「CPD制度」の周知・啓蒙の推進
 - ③ 自己研鑽型（セミナー、見学会など）活動へ参加しやすい環境整備
 - ④ 多様化する発注方式や業務環境に関する情報共有の促進
 - ⑤ 会員へのタイムリーな建築関連情報提供の促進
4. 関連団体等との連携促進
 - ① 東京三会への参加と関係団体との連携促進
 - ② JIA関連組織の理解と連携促進
 - ③ 「知的生産者の公共調達に関する法整備連絡協議会」への参画・支援
5. 本部活動との連携強化
 - ① 本部情報のスムーズな支部内共有の強化
 - ② 単一会であるメリットを活かした本部との活動連携の促進
 - ③ 「SDGs建築フォーラム」開催への協力・支援
6. 地域会活動・委員会活動の活性と連携推進
 - ① 委員会活動のミッションや体系の再確認
 - ② 地域会活動の活性化に向けての支援
 - ③ 委員長会議、地域サミットの効果的運営
 - ④ 首都圏課題に対する支部内体制の模索
 - ⑤ 法人協力会員との交流促進
 - ⑥ 活動の見える化による情報共有・活動連携の推進（支部HPの活用推進など）
7. 持続可能な会の運営推進
 - ① 会員拡大事業の企画
 - ② 次世代を担う若手会員の活動ステージの整備
 - ③ 学生会員・若手会員とシニア会員・フェロー会員の交流機会の増大
 - ④ 支部内における協議と意思決定の会議体の明確化
 - ⑤ 事務局業務を軽減していく意識強化
 - ⑥ 建築家職能を活かした収益事業の模索
 - ⑦ 会員減少に耐える財務体系の検討